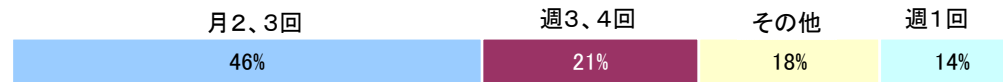


大豆入札取引ページに関するアンケート調査結果

実施日：平成23年3月4日～5月7日

実施方法：本協会ホームページに掲載されたアンケートよりご回答いただいた。

Q1 大豆入札取引のページをどのくらいの頻度でご覧になりますか。



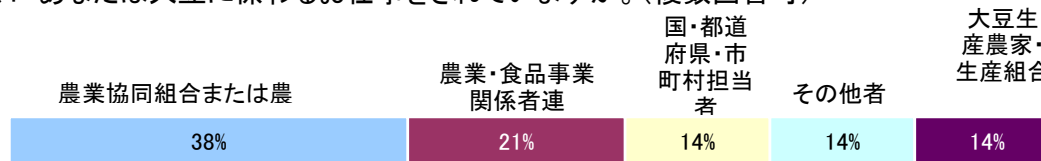
Q2 大豆入札取引のページでどの項目をご覧になりますか。(複数回答可)



Q3 あなたは売り手登録関係者または買い手登録関係者ですか。



Q4 あなたは大豆に係わるお仕事をされていますか。(複数回答可)



Q5 大豆入札取引のページへのご意見、ご要望のコメント

意見等	回答者属性	協会の見解
過去のデータをエクセルファイルでダウンロードできれば利用しやすいのでは？また、生育状況、集荷見込みなどもある程度分かりやすくまとめてタイムリーに提供していただければ、参考になると思います。	研究者	ご提案ありがとうございます。過去のデータについては、情報量が膨大になるので、必要な情報を指定して取り出せる方法を検討したいと思います。
入札結果などは、卸業者として閲覧しますが、そのまま情報を業界紙などに載せられる会社などもありますが、落札結果イコール流通価格として把握されるメーカー様などがまだまだ多いなか、各月での価格変動が発生した折には、安く翌月落札価格になると前月高値で落札した商品を破格での提供せざるを得ない状況が発生しております。誰でも閲覧できるシステムはおかしいと思います。登録制にして誰がどのように情報を使われているかを協会として把握していただくことが必要であるかと考えます。	買い手登録者	ビジネスの実情としてご意見は理解できますが、協会の入札取引は、価格形成の状況を公表し、透明性を確保することで、消費者、実需者のニーズが価格に反映され、よりニーズに即した大豆生産が行われることを期待するものです。入札取引の結果の公表やデータの提供については、大豆入札取引委員会で検討してルールを定めて行っています。ご理解の程お願いします。
落札価格について、産地品種銘柄・粒区分の普通大豆月別表のデータは非常に役立ちます。	大豆加工品メーカー担当者	活用いただき、ありがとうございます。
大豆入札に関する情報のみならず、大豆生産、流通、加工業者に関する動向等の周辺情報も載せて下さると大変参考になります。	研究者	努力したいと思います。
何時も入札をしています。ですが、不公平だと常々感じています。大豆の値段が高くなるのは仕方ないとしても、下がる時は下値を設けなくて欲しいと思っております。下値を設けて入札にかからなかった大豆は半値以下である商社に横流していると聞きます。是正をお願いいたします。	買い手登録者	入札取引の業務規程で売り手は、落札下限価格を設定できることとしています。落札下限価格については、現在の形で協会が入札取引を行うことになった当時、「予定価格」として検討されましたが、生産者手取りの確保、価格の安定の観点から必要としてルールが定められました。近年、需給の緩和から相対取引のウェイトが高まっていますが、その価格形成の実態については不明です。落札下限価格の必要性がなくなったと言う状況ではなく、ルールを撤廃するのではなく、売り手側の価格設定の工夫が求められるのではないのでしょうか。

意見等	回答者属性	協会の見解
大豆の生産量を増やして国内産大豆の入札がしやすいようにしてほしい。〇〇県産は生産が少なく入札価格が他県より高くなってしまふ。品質は他県より落ちるし、選別もよくない。泥汚れでも2等の印が押している。水分が高く半年で1kgも目切れする。など…	買い手登録者	国産大豆の供給安定、品質向上に向けて品質管理の改善等生産者の努力が望まれます。
「入札予定表」「入札取引結果」はメールでよいのではないのでしょうか	買い手登録者	経費節減のためにも貴重なご提案ですが、現状では買い手毎の事情が異なり、メールを利用できないケースやメールを社内の特定の担当者しか扱えないと思われる場合があります。買い手の状況に合わせて複数の通信手段を選ぶことも考えられますが、事務が煩雑化します。今後、どうすればよいのか検討したいと思います。